

日本語音声教育講習会のお知らせ

OJAD とそれを用いた音声指導

(OJAD=Online Japanese Accent Dictionary)

講師: 峯松 信明教授(東京大学大学院工学系研究科)

日時: 令和元年8月20日(火)

(前半)10:00~12:00

(後半)13:00~15:30



場所: 弘前大学総合教育棟4階 409講義室

内容: 「日本語らしく自然な発音を学びたい」と考える学習者は多いですが、音声・韻律教育教材が不足しています。このような現状に鑑み、

- アクセントやその変形の様子を、教科書ガイド的に分かり易く表示し、
- 共通語アクセント・イントネーションを任意の文に対して表示し、
- その通りに読み上げる、

などの機能を備えた OJAD が、国語研との協力で開発されました。本講習会では、以下の5点を学び、体験することができます。

- 1) 日本語アクセント・イントネーションに関する基礎知識の整理
- 2) 学習者の不適切な韻律を、母語話者はどのように知覚するのか?
- 3) OJAD 4機能の紹介と、演習形式での体験学習
- 4) アクセントのコンテキスト依存症はどのように規則化できるのか?
- 5) OJAD を使ったスピーチの指導法

定員・参加費: 60名(先着順), 無料

対象者: 弘前大学教員・学生。県内高校生(主に放送部の生徒)も参加可能です。

申し込み方法: 8月9日(金)までに、申し込みフォーム(URL)からお申し込みください。

<https://forms.gle/YQuyFbpuGAqJCFRV8>

その他: 充電済みのスマートフォンやタブレットをご持参ください。



問い合わせ先: 弘前大学国際連携本部 笹森圭子 kay@hirosaki-u.ac.jp

OJAD は、外国人の日本語学習者に限らず、共通語のアクセント習得をめざす日本人にとっても、この上ない教材だと思います。読み上げチューターのズブキンはイントネーション全体が、驚くほど自然な日本語(共通語)として仕上がっています。普段、共通語に慣れ親しんでいない地域の高校放送部員などにとっては、特に役立つはずですが、これを活用すれば、将来、アナウンサーやリポーターなど放送業界のみならず、日本語教師も含め、共通語を操る仕事へと可能性が広がるでしょう。なお、各地で開かれる講習会には、ぜひ参加されることをお勧めします。Web の解説を読めば一通り使えますが、講習会に参加した方が圧倒的に効率的です。 田中伊式(元 NHK アナウンサー、日本語教師)

「オンライン日本語アクセント辞典」のご紹介

OJAD

Online Japanese Accent Dictionary

OJAD

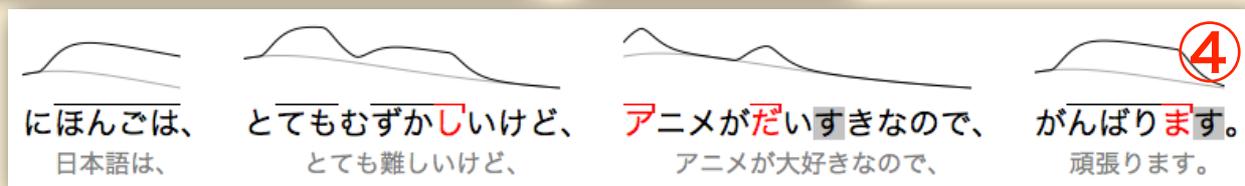


OJADは韻律教育を強力に支援するインフラとして開発されました。無償で公開しています。既に14ヶ国語に翻訳され、世界中で使われ、毎月約5万のアクセスを得ています。日本音声学会より学術奨励賞、電子情報通信学会よりISS論文賞を受賞しています。**OJADでググるとすぐ見つかります。**下記4種類の機能があります。

- ① 代表的な日本語教科書を対象に、用言の基本活用時のアクセント（変形）や名詞のアクセントを調べることができます。**用言に関しては全活用の音声**が聞けます。
- ② 基本活用以外の様々な動詞の後続語表現に対して、そのアクセントを調べることができます。約320通りの後続語表現に対応しています。
- ③ 任意のテキストから用言を自動抽出し、抽出された用言に対して、基本活用時のアクセントの様子を視覚的に表示します。
- ④ 任意のテキスト（漢字仮名混じり文）に対して、適切なアクセント、イントネーション、更には無声化モーラを視覚表示し、**そして、その通りに読み上げます。**

辞書形	～ます形	～て形	～た形	～ない形	～なかった形	～ば形
のる	のります	のって	のった	のらない	のらなかつた	のれば
おひむ	おひみます	おひんで	おひんだ	おひまない	おひまなかつた	おひめば
やめる	やめます	やめて	やめた	やめない	やまなかつた	やめれば
おひる	おひります	おひりて	おひりた	おひりない	おひりなかつた	おひれば

たおれぞうに
たおれぞうになる
たおれぞうになった
たおれぞうになったことがある
たおれに
たおれに
たおれにする



- ①と④の簡単なデモを体験できます。QRコードも下記に示します。
- ① 「みんなの日本語」の18+19課に初出する動詞のアクセントを、活用を含め呈示
<http://goo.gl/rlyCGm> → 「実行」をクリック、項目下のクリックで音声聴取
- ④ 任意のテキストを入力し、共通語として読むために必要な韻律情報を可視化&聴取
<http://goo.gl/bJTPmA> → 「実行」「作成」「再生」をクリック

全世界の日本語教育機関で、講習会を開催しています (<http://goo.gl/kZpY3p>)。講習会開催の要望、その他、お問い合わせは下記までお願いします。



①



④

Project OJAD (代表: 峯松信明@東京大学)
問い合わせ先: ojad@gavo.t.u-tokyo.ac.jp

OJAD講習会に参加された先生方からの推薦の言葉

OJADは画期的な日本語アクセント辞典です。このような素晴らしい研究・開発を今まで知らなかったことが、本当に悔やまれます。OJADが、日本語教育に携わる先生方、そして教わる学習者にとって、力強い味方となることを保証します。

ロウ律子 (President, Teachers of Japanese in Southern California, TJSC)



講習会に参加して予想以上に使い道があることを知りました。テキスト読み上げや弁論大会への応用だけでなく、活用形などの音声も聞けるので、初級の段階から導入できます。日本語教育ではプロソディ教育が現場の教師には難しいので、心強い助っ人になるでしょう。OJADが、強固な理論的背景と長年にわたる経験に基づき作成されているのも素晴らしい。

Yasuko Nagano-Madsen (Professor of Japanese, Univ. Gothenburg)



中国人は常に「普通語」（標準語）を意識して話しており、日本語学習者の「きれいな発音」に対する意識も高いです。ですが正しいアクセントが分からず、大きな問題でした。これが OJAD によって解決され、今では弁論大会出場者の殆どが OJAD ユーザーです。教師にとっても、原稿のアクセントチェックが OJAD によってほぼ仕上がるので大変便利です。私にとっては夢のツールを手に入れた気分です。

笈川幸司 (JASLON 代表, 北京)



音声指導に骨を折っていらっしゃいませんか？OJADを使ったことのない先生方はもちろん、使ったことのある先生方もぜひ講習会に参加して、このツールのさまざまな機能を学んで下さい！きっとクラスに役立つと思います。

山中恵美 (専任講師, ボストン大学)



音声教育を専門としています。以前から OJAD のようなソフトを探していました。OJAD はリリース直後から、ずっと使っています。学生の発音指導に使ったり、「韻律読み上げチュートスズキクン」で合成音声を作って、聴解テストを作ったりしています。とにかく教員、学生ともに非常に助けていただいています。他の先生方にもお薦めします。

柳悦 (講師, 中国人民大学外国語学院日本語科)



2016年1月に講習会をお願いしました。先日、参加者から報告がありました。「修了式のスピーチをする予定のベトナム人学生に紹介したところ、前日には発音が悪くて非常に聞きづらかったのですが、本番では驚くほど自然な発音になっていました。ここまで効果があるとは、OJADのデモ動画通りでした。」とのこと。他の学生、先生方にもお薦めします。

向井留実子 (教授, 東大大学文学部・人文社会系研究科国際交流室日本語教室)



学習者にOJADの使い方を教えると、韻律の発音練習が自習できるようになります。特に、任意文を共通語で読むためのピッチ曲線（アクセント・イントネーション）を示し、読み上げてくれるスズキクンは、口頭発表する機会のある学習者に、大変重宝がられています。

渡辺美知子 (非常勤講師, 東京大学大学院新領域創成科学研究科国際交流室)



OJAD は日本語学習者にも、日本語教師にも、本当にためになるツールです。学習者には日本語独特の抑揚を自律学習でき、教師には客観的に日本語の抑揚を確認できます。これまでにない画期的なツールです。学習者に紹介すると、いつも「お〜〜」と感嘆の声が！

勝川浩之 (教務主任, NYA日本語教師養成講座)

